

京都府後期高齢者医療広域連合電算処理システム機器更改等業務仕様書

1 本広域連合の概要

- (1) 被保険者数
355,825人(平成30年3月31日現在)
- (2) 関係市町村数
26市町村(政令指定都市1市を含む。)
- (3) 事務局職員数(平成30年4月1日現在)

	人数	備考
事務局長	1名	
会計管理者	1名	
事務局次長	1名	総務課長事務取扱
総務課	6名	総務課担当課長1名、課長補佐1名、担当係長1名、庶務担当1名、企画担当1名、財政担当1名
業務課	17名	業務課長1名、課長補佐2名、資格担当2名、賦課担当2名、電算担当1名、給付担当5名、臨時職員4名
合計	26名	

※ システムの利用者は、主に業務課の職員及び市町村の担当職員である。

2 構成

機器更改により必要となるハードウェア、ミドルウェア及びソフトウェア(ハードウェア等)は、以下のとおりとする。

<ハードウェア一覧>

機器名	データセンター内 (台数) ※京都市内	広域連合事務所 (台数)	市町村 (台数) ※26箇所
Webサーバ	2		
APサーバ	4		
DBサーバ	2		
帳票サーバ	2		
ADサーバ兼ICカード認証サーバ	2		
ストレージ装置	1		
FCスイッチ	2		
バックアップサーバ	1		
運用管理サーバ	2		
検証用Webサーバ	1		
検証用APサーバ	2		
検証用DBサーバ	1		
検証用帳票サーバ	1		
検証用ストレージ装置	1		
運用管理端末	1	1	
広域端末(デスクトップ)		2	
広域端末(ノート)	1	15	

検証用端末（ノート）	1		
窓口端末（市町村）デスクトップ			2 6
プリンタ		1	2 6
L3 スイッチ(データセンター)	2		
L2 スイッチ(データセンター)	1 1		
負荷分散装置及び SSL アクセラレーター	2		
ファイアウォール(データセンター)	2		
L2 スイッチ		2	5 2 (各 2 台)
NW 用 UPS		1	2 6
不正接続防止装置		1	2 6
端末ログ収集サーバ	1		

※ 端末について、デスクトップ・ノートに分けて台数を記載しているが、台数の内訳は変更の可能性があるため、柔軟に対応すること。なお、記載の台数は現行の運用体制（常駐保守員 1 名、データセンター作業員 3 名）を踏まえた台数としている。

※ スタンドアロン型の IC カード認証ソフトウェアでの提案が可能な場合は、AD サーバが不要となる事から、クラスタリングをクラスタリングソフトにて行い、AD サーバを設置しない事。

<ソフトウェア構成>

	Webサーバ	APサーバ	DBサーバ	帳票サーバ	ADサーバ	バックアップサーバ	運用管理サーバ	運用管理端末	広域端末	窓口端末	端末ログ収集サーバ
OS	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
WindowsServer2016											
Windows10											
HTTP サーバ	◎	◎									
DNS サーバ	◎				◎						
メールサーバ	◎										
ExpressMail											
Active Directory サーバ					◎						
NTP サーバ	◎				◎						
Web アプリケーションサーバ		◎									
Oracle WebLogic Server Standard Edition											
プログラム実行環境・ソフト製品		◎									
SORT Version8(64) 基本パ											

パッケージ												
SORT Version8(64)追加 CPU ライセンス												
COBOL2002 Net ServerRuntime												
Hitachi Code Converter - Server Runtime for C/COBOL												
帳票ソフトウェア				◎								
SVF for PDF SVF Connect SUITE SVFX-Designer												
帳票コネクタソフトウェア		◎										
SVF Connect Suite Standard												
データベースソフトウェア			◎									
Oracle Database 12c R2 Standard Edition 2												
日本語入力ソフトウェア		◎		◎				◎	◎	◎		
KAJO_J 入力システム 後期 高齢者医療広域連合電算処 理システム対応版												
外字管理ソフトウェア	◎	◎		◎			◎	◎	◎	◎		
文撰												
バッチジョブ管理ソフトウ ェア	○	○	○	○	○	○	●	△				
JP1/Automatic Job Management System 3 JP1/Base												
統合管理ソフトウェア	○	○	○	○	○	○	●/○	△				○
JP1/Integrated Management JP1/Integrated Management - Event Gateway for Network Node Manager i JP1/Base												
稼働監視ソフトウェア	○	○	○	○	○	○	●	△				○
JP1/Performance Management JP1/Performance Management - Agent Option for Platform JP1/Performance Management - Agent Option for Oracle JP1/TELstaff AE Professional												

資源管理ソフトウェア 指定なし	○	○	○	○	○	○	●	△				○
ネットワーク監視ソフトウェア JP1/Network Node Manager i JP1/SNMP System Observer JP1/Extensible SNMP Agent for Windows JP1/SNMP System Observer - Agent for Process	○	○	○	○	○	○	●/○					○
不正接続防止ソフトウェア 指定なし							◎					
バックアップソフトウェア 指定なし	○	○	○	○	○	●	○					○
ウイルス対策ソフトウェア 指定なし	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
ストレージ管理ソフトウェア 指定なし			◎	◎		◎	◎					
ICカード認証ソフトウェア 指定なし					◎			◎	◎	◎		
パソコン操作履歴収集ソフト ウェア InfoTrace PLUS								○	○	○		●
パソコン操作制御ソフトウ ェア InfoTrace PLUS								○	○	○		●
Webブラウザ								◎	◎	◎		
PDFクライアント									◎	◎		
メールクライアント								◎	◎	◎		

◎：当該製品を導入

●：当該製品のマネージャ製品を導入

○：当該製品のエージェント製品を導入

△：当該製品のビューワー製品を導入

<詳細な仕様>

ハードウェア等の最低限満たすべき仕様は、以下のとおりとする。本仕様書に明記されていない事項は、国保中央会が示す後期高齢者医療広域連合電算処理システム仕様書（構成編）、日本工業規格（JIS）。電気学会電気企画調査会標準規格（JEC）及び日本電気工業規格（JEM）の技術基準に合致するものであること。また、製品型番を記載している製品及び製品名称を記載している製品は該当する製品を導入すること。本広域連合における運用を考慮して製品選定を行っているため、代替製品での提案は認めない。本仕様書に記載されているハードウェア等の他に必要なハードウェア等がある場合は、適宜追加して構成すること。

また、導入するソフトウェアに必要なインストール用媒体を納入すること。

(1) Web サーバ

①ハードウェア仕様

機器名	仕様
Web サーバ	CPU : XeonS 4112 (2.60GHz/4コア) 以上、2基 メインメモリ : 16GB 以上 内蔵ディスク : SAS HDD 300GB 以上、搭載数 2 基以上、回転数 15,000rpm 以上、RAID1 構成 ネットワークインターフェース : 1000BASE-T×4 ポート以上、LAN ボード 2 枚以上 (オンボード+拡張スロット構成を適用することを可とする) USB インターフェース : USB2.0 または USB3.0、1 ポート以上 ファイルフォーマット : NTFS 光ディスクドライブ : DVD ドライブ (外付けまたは内蔵) FDD : Flash FDD (USB) 電源・冷却ファン : 冗長化

②ソフトウェア仕様

項番	ソフトウェア名称	バージョン	型番	メカ名称	数量	備考
1	Microsoft Windows Server 2016 Standard(16Core)	2016	UL1902-001	Microsoft	2	
2	ExpressMail	6.1	ULA1132-A01	NEC	2	
3	文撰基本ソフト Ver5.1	5.1		IRCデータプロテクニカ	2	
4	JP1/Base	11	TP1-A09J59331	日立製作所	2	
5	JP1/Automatic Job Management System 3 - Agent	11	TP1-A09J59044	日立製作所	8	
6	JP1/Performance Management - Agent Option for Platform	11	TP1-A09J59205	日立製作所	2	
7	JP1/Extensible SNMP Agent for Windows	11	TP1-A09J59153	日立製作所	2	
8	JP1/SNMP System Observer - Agent for Process	11	TP1-A09J59164	日立製作所	2	
9	ウイルス対策ソフト				必要数	※3

※下記ソフトウェアのエージェントについては、運用管理サーバもしくはバックアップサーバのソフトウェア数量に含むが、必要となる設定作業を行うこと。

JP1/Integrated Management - Manager

JP1/TELstaff AE Professional Edition

JP1/Integrated Management - Event Gateway for Network Node Manager i

JP1/Network Node Manager i

JP1/Performance Management - Manager

資源管理ソフトウェア
バックアップソフトウェア

(2) AP サーバ

①ハードウェア仕様

機器名	仕様
AP サーバ	CPU : XeonG 5122 (3.60GHz/4コア) 以上、2基 メインメモリ : 32GB 以上 内蔵ディスク : SAS HDD 600GB 以上、搭載数 2基以上、回転数 15,000rpm 以上、RAID1 構成 ネットワークインターフェース : 1000BASE-T×4ポート以上、LAN ボード 2枚以上 (オンボード+拡張スロット構成を適用することを可とする) USB インターフェース : USB2.0 または USB3.0、1ポート以上 ファイルフォーマット : NTFS 光ディスクドライブ : DVD ドライブ (外付けまたは内蔵) FDD : Flash FDD (USB) 電源・冷却ファン : 冗長化

②ソフトウェア仕様

項番	ソフトウェア名称	バージョン	型番	メーカー名称	数量	備考
1	Microsoft Windows Server 2016 Standard(16Core)	2016	UL1902-001	Microsoft	4	
2	Oracle WebLogic Server Standard Edition 1 Processor	12C	UW2W13-E0PA4	Oracle	8	
3	SORT Version8(64) 基本パッケージ	8		日立製作所	4	
4	SORT Version8(64)追加CPUライセンス	8		日立製作所	1 2	
5	COBOL2002 Net Server Runtime (64) 基本パッケージ	最新版		日立製作所	4	
6	COBOL2002 Net Server Runtime (64) 追加CPUライセンス	最新版		日立製作所	1 2	
7	Hitachi Code Converter - Server Runtime for C/COBOL (64) 基本パッケージ	最新版		日立製作所	4	
8	Hitachi Code Converter - Server Runtime for C/COBOL (64)追加CPUライセンス	最新版		日立製作所	1 2	

9	JP1/Base	11	TP1-A09J59331	日立製作所	4	
10	JP1/Automatic Job Management System 3 - Agent	11	TP1-A09J59044	日立製作所	16	
11	JP1/Performance Management - Agent Option for Platform	11	TP1-A09J59205	日立製作所	4	
12	JP1/Performance Management - Agent Option for Application Server	11	TP1-A09J59248	日立製作所	4	
13	JP1/Extensible SNMP Agent for Windows	11	TP1-A09J59153	日立製作所	4	
14	JP1/SNMP System Observer - Agent for Process	11	TP1-A09J59164	日立製作所	4	
15	KAJO_J入力システム 後期高齢者医療広域連合電算処理システム対応版	7	TP1-07L252251	日本加除出版	4	
16	SVF Connect Suite Standard	9.2	UW021G-H4WA00	ウィングアーク	4	
17	文撰基本ソフト Ver5.1			IRCデータプロテクニカ	4	

※下記ソフトウェアのエージェントについては、運用管理サーバもしくはバックアップサーバのソフトウェア数量に含むが、必要となる設定作業を行うこと。

JP1/Integrated Management - Manager
 JP1/TELstaff AE Professional Edition
 JP1/Integrated Management - Event Gateway for Network Node Manager i
 JP1/Network Node Manager i
 JP1/Performance Management - Manager
 資源管理ソフトウェア
 バックアップソフトウェア

※ウイルス対策ソフトの対象とすること。

(3) DB サーバ

① ハードウェア仕様

機器名	仕様
DB サーバ	CPU : XeonG 6146 (3.20GHz/12 コア) 以上、1 基 メインメモリ : 64GB 以上 内蔵ディスク : SAS HDD 600GB 以上、搭載数 2 基以上、回転数 15,000rpm 以上、RAID1 構成 ネットワークインターフェース : 1000BASE-T×4 ポート以上、LAN ボード 2 枚以上 (オンボード+拡張スロット構成を適用することを可とする) USB インターフェース : USB2.0 または USB3.0、1 ポート以上

	FC インターフェース : 8GbpsFC 対応インターフェース以上、2 ポート以上、FC ボード 2 枚以上 ファイルフォーマット : NTFS 光ディスクドライブ : DVD ドライブ (外付けまたは内蔵) FDD : Flash FDD (USB) 電源・冷却ファン : 冗長化
--	---

※ RAC 構成とすること。

②ソフトウェア仕様

項番	ソフトウェア名称	バージョン	型番	メーカー名称	数量	備考
1	Microsoft Windows Server 2016 Standard(16Core)	2016	UL1902-001	Microsoft	2	
2	JP1/Base	11	TP1-A09J593 31	日立製作所	2	
3	JP1/Automatic Job Management System 3 - Agent	11	TP1-A09J590 44	日立製作所	1 2	
4	JP1/Performance Management - Agent Option for Platform	11	TP1-A09J592 05	日立製作所	2	
5	JP1/Performance Management - Agent Option for Oracle	11	P-L22C-ADBL &G001	日立製作所	2	
6	Oracle Database Standard Edition 2 1 Processor	12C	ULGS2E-JOPA 4	Oracle	2	
7	JP1/Extensible SNMP Agent for Windows	11	TP1-A09J591 53	日立製作所	2	
8	JP1/SNMP System Observer - Agent for Process	11	TP1-A09J591 64	日立製作所	2	
9	ストレージ管理ソフト					※ 2

※下記ソフトウェアのエージェントについては、運用管理サーバもしくはバックアップサーバのソフトウェア数量に含むが、必要となる設定作業を行うこと。

- JP1/Integrated Management - Manager
- JP1/TELstaff AE Professional Edition
- JP1/Integrated Management - Event Gateway for Network Node Manager i
- JP1/Network Node Manager i
- JP1/Performance Management - Manager
- 資源管理ソフトウェア
- バックアップソフトウェア

※ウイルス対策ソフトの対象とすること。

(4) 帳票サーバ

①ハードウェア仕様

機器名	仕様
帳票サーバ	CPU : XeonG 5122 (3.60GHz/4コア) 以上、2基

	メインメモリ：32GB 以上 内蔵ディスク：SAS HDD 300GB 以上、搭載数 2 基以上、回転数 15,000rpm 以上、RAID1 構成 ネットワークインターフェース：1000BASE-T×4 ポート以上、LAN ボード 2 枚以上、(オンボード+拡張スロット構成を適用することを可とする) USB インターフェース：USB2.0 または USB3.0、1 ポート以上 FC インターフェース：8GbpsFC 対応インターフェース以上、2 ポート以上、FC ボード 2 枚以上 ファイルフォーマット：NTFS 光ディスクドライブ：DVD ドライブ (外付けまたは内蔵) FDD：Flash FDD (USB) 電源・冷却ファン：冗長化
--	---

※ クラスタ構成とすること。

②ソフトウェア仕様

項番	ソフトウェア名称	バージョン	型番	メーカー名称	数量	備考
1	Microsoft Windows Server 2016 Standard(16Core)	2016	UL1902-001	Microsoft	2	
2	JP1/Base	11	TP1-A09J59331	日立製作所	2	
3	JP1/Automatic Job Management System 3 - Agent	11	TP1-A09J59044	日立製作所	8	
4	JP1/Performance Management - Agent Option for Platform	11	TP1-A09J59205	日立製作所	2	
5	JP1/Extensible SNMP Agent for Windows	11	TP1-A09J59153	日立製作所	2	
6	JP1/SNMP System Observer - Agent for Process	11	TP1-A09J59164	日立製作所	2	
7	WebSAM 4Core SVF for PDF Windows 版 (1CPU)	最新版	UW027A-H4WB00	ウイングアーク	2	
8	WebSAM HotStandby 4Core SVF for PDF Windows 版 (1CPU)	最新版	UW028A-H4WB00	ウイングアーク	2	
9	WebSAM SVF Connect SUITE Standard Windows 版	最新版	UW021G-H4WA00	ウイングアーク	1	
10	WebSAM HotStandby SVF Connect SUITE Standard Windows 版	最新版	UW03A8-H11RW0	ウイングアーク	1	
11	WebSAM SVFX-Designer	最新版	UW021B-H40A00	ウイングアーク	2	
12	ストレージ管理ソフト					※2

1 3	KAJO_J 入力システム 後期高齢者医療広域連合電算処理システム対応版	7	TP1-07L252251	日本加除出版	2	
1 4	文撰基本ソフト Ver5.1	5.1		IRC データプロテクニカ	2	

※下記ソフトウェアのエージェントについては、運用管理サーバもしくはバックアップサーバのソフトウェア数量に含むが、必要となる設定作業を行うこと。

JP1/Integrated Management - Manager
 JP1/TELstaff AE Professional Edition
 JP1/Integrated Management - Event Gateway for Network Node Manager i
 JP1/Network Node Manager i
 JP1/Performance Management - Manager
 資源管理ソフトウェア
 バックアップソフトウェア

※ウイルス対策ソフトの対象とすること。

(5) AD サーバ

①ハードウェア仕様

機器名	仕様
AD サーバ	CPU : XeonS 4112 (2.60GHz/4コア) 以上、2基 メインメモリ : 32GB 以上 内蔵ディスク : SAS HDD 300GB 以上、搭載数 2 基以上、回転数 15,000rpm 以上、RAID1 構成 ネットワークインターフェース : 1000BASE-T×4 ポート以上、LAN ボード 2 枚以上、(オンボード+拡張スロット構成を適用することを可とする) USB インターフェース : USB2.0 または USB3.0、1 ポート以上 ファイルフォーマット : NTFS 光ディスクドライブ : DVD ドライブ (外付けまたは内蔵) FDD : Flash FDD (USB) 電源・冷却ファン : 冗長化

②ソフトウェア仕様

項番	ソフトウェア名称	バージョン	型番	メーカー名称	数量	備考
1	Microsoft Windows Server 2016 Standard(16Core)	2016	UL1902-001	Microsoft	2	
2	JP1/Base	11	TP1-A09J59331	日立製作所	2	
3	JP1/Automatic Job Management System 3 - Agent	11	TP1-A09J59044	日立製作所	8	
4	JP1/Performance Management - Agent Option for Platform	11	TP1-A09J59205	日立製作所	2	

5	JP1/Extensible SNMP Agent for Windows	11	TP1-A09J59153	日立製作所	2	
6	JP1/SNMP System Observer - Agent for Process	11	TP1-A09J59164	日立製作所	2	
7	ICカード認証ソフトウェア				必要数	※6

※下記ソフトウェアのエージェントについては、運用管理サーバもしくはバックアップサーバのソフトウェア数量に含むが、必要となる設定作業を行うこと。

JP1/Integrated Management - Manager
 JP1/TELstaff AE Professional Edition
 JP1/Integrated Management - Event Gateway for Network Node Manager i
 JP1/Network Node Manager i
 JP1/Performance Management - Manager
 資源管理ソフトウェア
 バックアップソフトウェア

※ウイルス対策ソフトの対象とすること。

(6) ストレージ装置

① ハードウェア仕様

機器名	仕様
ストレージ装置	キャッシュメモリ：48GB 以上 FC インターフェース：FC コントローラ (8ch) 16Gbps ハードディスク：2.5 型 15,000rpm/600GB ×41 (2 本ホットスペア) (SAS) (RAID10) 実容量：10TB 2.5 型 7,200krpm/2TB ×9 (1 本ホットスペア) (ニアライン SAS) (RAID6) 実容量：10TB ディスクエンクロージャ (2.5 型 12Gbps) ×2 ディスクアレイコントローラ：2 台

(7) FC スイッチ

① ハードウェア仕様

機器名	仕様
FC スイッチ	データ転送速度：ノンブロッキング、全二重、800MB/S ポート数：12 ポート以上 ポートタイプ：F、E ポート自動認識のユニバーサルポート、 E ポート数に制限なし メディアタイプ：8Gbps、短波長レーザ 管理ポート：RJ45、Ethernet (10/100BASE-T) 障害監視：SNMPv1/v3、業界標準 MIB 準拠 冗長ファン、冗長電源

(8) バックアップサーバ

①ハードウェア仕様

機器名	仕様
バックアップサーバ	CPU : XeonG 5122 (3.60GHz/4コア) 以上、2基 メインメモリ : 32GB 以上 内蔵ディスク : SAS HDD 300GB 以上、搭載数 6基以上、回転数 15,000rpm 以上、RAID5 構成 ネットワークインターフェース : 1000BASE-T×4ポート以上、LANボード2枚以上(オンボード+拡張スロット構成を適用することを可とする) USBインターフェース : USB2.0 または USB3.0、1ポート以上 FCインターフェース : 8GbpsFC 対応以上×2ポート以上、FCボード2枚以上 SASインターフェース : LTO 対応インターフェース ファイルフォーマット : NTFS 光ディスクドライブ : DVD ドライブ (外付けまたは内蔵) FDD : Flash FDD (USB) 電源・冷却ファン : 冗長化
LTO 装置	ドライブ : LTO Ultrium7 ドライブ数 : 2 スロット数 : 30 転送速度 : 2,160GB/h (1ドライブあたり)

②ソフトウェア仕様

項番	ソフトウェア名称	バージョン	型番	メーカー名称	数量	備考
1	Microsoft Windows Server 2016 Standard(16Core)	2016	UL1902-001	Microsoft	1	
2	JP1/Base	11	TP1-A09J59331	日立製作所	1	
3	JP1/Automatic Job Management System 3 - Agent	11	TP1-A09J59044	日立製作所	1	
4	JP1/Performance Management - Agent Option for Platform	11	TP1-A09J59205	日立製作所	1	
5	JP1/Extensible SNMP Agent for Windows	11	TP1-A09J59153	日立製作所	1	
6	JP1/SNMP System Observer - Agent for Process	11	TP1-A09J59164	日立製作所	1	
7	バックアップソフトウェア				必要数	※1
8	ストレージ管理ソフトウェア				必要数	※2

※下記ソフトウェアのエージェントについては、運用管理サーバのソフトウェア数量に含むが、必要となる設定作業を行うこと。

JP1/Integrated Management - Manager
 JP1/TELstaff AE Professional Edition
 JP1/Integrated Management - Event Gateway for Network Node Manager i
 JP1/Network Node Manager i
 JP1/Performance Management - Manager
 資源管理ソフトウェア

※ウイルス対策ソフトの対象とすること。

(9) 運用管理サーバ

ア 運用管理サーバ

①ハードウェア仕様

機器名	仕様
運用管理サーバ	CPU : XeonG 5122 (3.60GHz/4コア) 以上、2基 メインメモリ : 32GB 以上 内蔵ディスク : SAS HDD 300GB 以上、搭載数 6基以上、回転数 15,000rpm 以上、RAID5 構成 ネットワークインターフェース : 1000BASE-T×4 ポート以上、LAN ボード 2 枚以上(オンボード+拡張スロット構成を適用することを可とする) USB インターフェース : USB2.0 または USB3.0、1 ポート以上 FC インターフェース : 8GbpsFC 対応以上×2 ポート以上 SAS インターフェース : LTO 対応インターフェース ファイルフォーマット : NTFS 光ディスクドライブ : DVD ドライブ (外付けまたは内蔵) FDD : Flash FDD (USB) 電源・冷却ファン : 冗長化
LTO 装置 ※運用管理サーバそれぞれに必要。	ドライブ : LTO Ultrium6 ドライブ数 : 1 以上 スロット数 : 1 以上 転送速度 : 非圧縮時 160MB/s 以上

※ クラスタ構成とすること。

②ソフトウェア仕様

項番	ソフトウェア名称	バージョン	型番	メーカー名称	数量	備考
1	Microsoft Windows Server 2016 Standard(16Core)	2016	UL1902-001	Microsoft	2	
2	JP1/Base	11	TP1-A09J59331	日立製作所	2	
3	JP1/Automatic Job Management System 3 - Manager	11	TP1-A09J59033	日立製作所	8	
4	JP1/Automatic Job Management System 3 - View	11	TP1-A09J59030	日立製作所	2	

5	JP1/Integrated Management Manager 基本パッケージ	11	TP1-A09J59313	日立製作所	2	
6	JP1/Integrated Management Manager 管理エージェント数 500 追加	11	TP1-A09J59315	日立製作所	1	
7	JP1/TELstaff AE Professional Edition 300 Users	11	TP1-A09J59323	日立製作所	2	
8	JP1/Integrated Management - Event Gateway for Network Node Manager i	11		日立製作所	2	
9	JP1/Performance Management Manager 基本パッケージ	11	TP1-A09J59181	日立製作所	2	
10	JP1/Performance Management Manager 管理エージェント数 500 追加	11	TP1-A09J59183	日立製作所	1	
11	JP1/Performance Management - Agent Option for Platform	11	TP1-A09J59205	日立製作所	2	
12	JP1/Network Node Manager i V10 管理ノード 50 追加	10	P-L142-82BL &W050	日立製作所	2	
13	JP1/Network Node Manager i V10 管理ノード 250 追加	10	P-L142-82BL &W250	日立製作所	2	
14	JP1/SNMP System Observer V10	10	P-L142-8RBL &G001	日立製作所	2	
15	JP1/Extensible SNMP Agent for Windows	11	TP1-A09J59153	日立製作所	2	
16	JP1/SNMP System Observer - Agent for Process	11	TP1-A09J59164	日立製作所	2	
17	バックアップソフトウェア				2	※1
18	ウイルス対策ソフト				必要数	※3
19	不正接続防止ソフト				必要数	※4
20	文撰基本ソフト V5.1	5.1		IRCデータプロテクニカ	2	
21	ストレージ管理ソフト					※2
22	資源管理ソフト					※5

※下記ソフトウェアのエージェントについては、バックアップサーバのソフトウェア数量に含むが、必要となる設定作業を行うこと。

バックアップソフトウェア

※ウイルス対策ソフトの対象とすること。

(10) 検証用 Web サーバ

①ハードウェア仕様

機器名	仕様
検証用 Web サーバ	CPU : XeonS 4112 (2.60GHz/4コア) 以上、2基 メインメモリ : 16GB 以上 内蔵ディスク : SAS HDD 300GB 以上、搭載数 2基以上、回転数 15,000rpm 以上、RAID1 構成 ネットワークインターフェース : 1000BASE-T×4ポート以上、LAN ボード 2枚以上 (オンボード+拡張スロット構成を適用することを可とする) USB インターフェース : USB2.0 または USB3.0、1ポート以上 ファイルフォーマット : NTFS 光ディスクドライブ : DVD ドライブ (外付けまたは内蔵) FDD : Flash FDD (USB) 電源・冷却ファン : 冗長化

②ソフトウェア仕様

項番	ソフトウェア名称	バージョン	型番	メーカー名称	数量	備考
1	Microsoft Windows Server 2016 Standard(16Core)	2016	UL1902-001	Microsoft	1	
2	文撰基本ソフト V5.1	5.1		IRCデータプロテクニカ	1	
3	JP1/Base	11	TP1-A09J59331	日立製作所	1	
4	JP1/Automatic Job Management System 3 - Agent	11	TP1-A09J59044	日立製作所	4	
5	JP1/Extensible SNMP Agent for Windows	11	TP1-A09J59153	日立製作所	1	
6	JP1/SNMP System Observer - Agent for Process	11	TP1-A09J59164	日立製作所	1	

※下記ソフトウェアのエージェントについては、運用管理サーバもしくはバックアップサーバのソフトウェア数量に含むが、必要となる設定作業を行うこと。

JP1/Integrated Management - Manager

JP1/TELstaff AE Professional Edition

JP1/Integrated Management - Event Gateway for Network Node Manager i

JP1/Network Node Manager i

JP1/Performance Management - Manager

資源管理ソフトウェア

バックアップソフトウェア

※ウイルス対策ソフトの対象とすること。

(11) 検証用 AP サーバ

①ハードウェア仕様

機器名	仕様
検証用 AP サーバ	CPU : XeonG 5122 (3.60GHz/4コア) 以上、2基 メインメモリ : 32GB 以上 内蔵ディスク : SAS HDD 600GB、搭載数 2 基以上、回転数 15,000rpm 以上、RAID1 構成 ネットワークインターフェース : 1000BASE-T×4 ポート以上、LAN ボード 2 枚以上 (オンボード+拡張スロット構成を適用することを可とする) ※検証用 AP サーバ 1 台のみ上記に追加して 600GB×4 回転数 15,000rpm 以上 (RAID1) を追加すること。 USB インターフェース : USB2.0 または USB3.0、1 ポート以上 ファイルフォーマット : NTFS 光ディスクドライブ : DVD ドライブ (外付けまたは内蔵) FDD : Flash FDD (USB) 電源・冷却ファン : 冗長化

②ソフトウェア仕様

項番	ソフトウェア名称	バージョン	型番	メーカー名称	数量	備考
1	Microsoft Windows Server 2016 Standard(16Core)	2016	UL1902-001	Microsoft	2	
2	Oracle WebLogic Server Standard Edition 1 Processor	12C	UW2W13-EOPA4	Oracle	4	
3	SORT Version8(64) 基本パッケージ	8	P-2921-1284&VW	日立製作所	2	
4	SORT Version8(64) 追加 CPU ライセンス	8	P-2921-1284&V1	日立製作所	6	
5	COBOL2002 Net Server Runtime (64) 基本パッケージ	最新版	P-2936-5334&VW	日立製作所	2	
6	COBOL2002 Net Server Runtime (64) 追加 CPU ライセンス	最新版	P-2936-5334&V1	日立製作所	6	
7	Hitachi Code Converter - Server Runtime for C/COBOL (64) 基本パッケージ	最新版	P-295Z-1144&VW	日立製作所	2	
8	Hitachi Code Converter - Server Runtime for C/COBOL (64) 追加 CPU ライセンス	最新版	P-295Z-1144&V1	日立製作所	6	
9	JP1/Base	11	TP1-A09J59331	日立製作所	2	

10	JP1/Automatic Job Management System 3 - Agent	11	TP1-A09J59044	日立製作所	8	
11	JP1/Extensible SNMP Agent for Windows	11	TP1-A09J59153	日立製作所	2	
12	JP1/SNMP System Observer - Agent for Process	11	TP1-A09J59164	日立製作所	2	
13	KAJO_J 入力システム 後期高齢者医療広域連合電算処理システム対応版	7	TP1-07L252251	日本加除出版	2	
14	SVF Connect Suite Standard	9.2	UW021G-H4WA00	ウィングアーク	2	
15	文撰基本ソフト Ver5.1	5.1		IRCデータプロテクニカ	2	

※下記ソフトウェアのエージェントについては、運用管理サーバもしくはバックアップサーバのソフトウェア数量に含むが、必要となる設定作業を行うこと。

JP1/Integrated Management - Manager

JP1/TELstaff AE Professional Edition

JP1/Integrated Management - Event Gateway for Network Node Manager i

JP1/Network Node Manager i

JP1/Performance Management - Manager

資源管理ソフトウェア

バックアップソフトウェア

※ウイルス対策ソフトの対象とすること。

(12) 検証用 DB サーバ

①ハードウェア仕様

機器名	仕様
検証用 DB サーバ	CPU : XeonG 6146 (3.20GHz/12 コア) 以上、1 基 メインメモリ : 64GB 以上 内蔵ディスク : SAS HDD 600GB 以上、搭載数 2 基以上、回転数 15,000rpm 以上、RAID1 構成 ネットワークインターフェース : 1000BASE-T×4 ポート以上、LAN ボード 2 枚以上 (オンボード+拡張スロット構成を適用することを可とする) USB インターフェース : USB2.0 または USB3.0、1 ポート以上 FC インターフェース : 16GbpsFC 対応インターフェース以上、2 ポート以上、FC ボード 2 枚以上 ファイルフォーマット : NTFS 光ディスクドライブ : DVD ドライブ (外付けまたは内蔵) FDD : Flash FDD (USB) 電源・冷却ファン : 冗長化

②ソフトウェア仕様

項	ソフトウェア名称	バージョン	型番	メーカー名称	数量	備考
---	----------	-------	----	--------	----	----

番						
1	Microsoft Windows Server 2016 Standard(16Core)	2016	UL1902-001	Microsoft	1	
2	JP1/Base	11	TP1-A09J59331	日立製作所	1	
3	JP1/Automatic Job Management System 3 - Agent	11	TP1-A09J59044	日立製作所	6	
4	Oracle Database Standard Edition 2 1 Processor	12C	ULGS39-JOPA4	日立製作所	1	
5	JP1/Extensible SNMP Agent for Windows	11	TP1-A09J59153	日立製作所	1	
6	JP1/SNMP System Observer - Agent for Process	11	TP1-A09J59164	日立製作所	1	

※下記ソフトウェアのエージェントについては、運用管理サーバしくはバックアップサーバのソフトウェア数量に含むが、必要となる設定作業を行うこと。

JP1/Integrated Management - Manager
 JP1/TELstaff AE Professional Edition
 JP1/Integrated Management - Event Gateway for Network Node Manager i
 JP1/Network Node Manager i
 JP1/Performance Management - Manager
 資源管理ソフトウェア
 バックアップソフトウェア

※ウイルス対策ソフトの対象とすること。

(13) 検証用帳票サーバ

①ハードウェア仕様

機器名	仕様
帳票サーバ	CPU : XeonG 5122 (3.60GHz/4コア) 以上、2基 メインメモリ : 32GB 以上 内蔵ディスク : SAS HDD 300GB 以上、搭載数 2 基以上、回転数 15,000rpm 以上、RAID1 構成 ネットワークインターフェース : 1000BASE-T×4 ポート以上、LAN ボード 2 枚以上 (オンボード+拡張スロット構成を適用することを可とする) USB インターフェース : USB2.0 または USB3.0、1 ポート以上 ファイルフォーマット : NTFS 光ディスクドライブ : DVD ドライブ (外付けまたは内蔵) FDD : Flash FDD (USB) 電源・冷却ファン : 冗長化

②ソフトウェア仕様

項番	ソフトウェア名称	バージョン	型番	メーカー名称	数量	備考

1	Microsoft Windows Server 2016 Standard(16Core)	2016	UL1902-001	Microsoft	1	
2	JP1/Base	11	TP1-A09J59331	日立製作所	1	
3	JP1/Automatic Job Management System 3 - Agent	11	TP1-A09J59044	日立製作所	4	
4	JP1/Extensible SNMP Agent for Windows	11	TP1-A09J59153	日立製作所	1	
5	JP1/SNMP System Observer - Agent for Process	11	TP1-A09J59164	日立製作所	1	
6	WebSAM 4Core SVF for PDF Windows 版 (1CPU)	最新版	UW027A-H4WB00	ウイングアーク	2	
7	WebSAM SVF Connect SUITE Standard Windows 版	9.2	UW021G-H4WA00	ウイングアーク	1	
8	WebSAM SVFX-Designer	最新版	UW021B-H40A00	ウイングアーク	1	
9	KAJO_J 入力システム 後期高齢者医療広域連合電算処理システム対応版	7	TP1-07L252251	日本加除出版	1	
10	文撰基本ソフト Ver5.1	5.1		IRC データプロテクニカ	1	

※下記ソフトウェアのエージェントについては、運用管理サーバもしくはバックアップサーバのソフトウェア数量に含むが、必要となる設定作業を行うこと。

JP1/Integrated Management - Manager

JP1/TELstaff AE Professional Edition

JP1/Integrated Management - Event Gateway for Network Node Manager i

JP1/Network Node Manager i

JP1/Performance Management - Manager

資源管理ソフトウェア

バックアップソフトウェア

※ウイルス対策ソフトの対象とすること。

(14) 検証用ストレージ装置

①ハードウェア仕様

機器名	仕様
検証用ストレージ装置	キャッシュメモリ：48GB 以上 FC インターフェース：FC コントローラ (8ch) 16Gbps ハードディスク：2.5 型 15,000rpm/600GB ×41 (2 本ホットスペア) (SAS) (RAID10) 実容量：10TB 2.5 型 7,200krpm/2TB ×9 (1 本ホットスペア)

	(ニアライン SAS) (RAID6) 実容量：10TB ディスクエンクロージャ (2.5型 12Gbps) ×2 ディスクアレイコントローラ：2台
--	---

(15) 運用管理端末

①ハードウェア仕様

機器名	仕様
運用管理端末	CPU：インテル® Core™ i5-6500 プロセッサ 以上 メインメモリ：4GB 以上 内蔵ディスク：500GB 以上 LAN：1000BASE-T ディスプレイ：17型 SXGA 液晶(1280×1024 ドット) USB 109 キーボード&USB レーザーマウス DVD スーパーマルチドライブ バージョン 10.0(ビルド 14393) USB インターフェース：8ポート以上 ICカード・ICカードリーダー

②ソフトウェア仕様

項番	ソフトウェア名称	バージョン	型番	メーカー名称	数量	備考
1	Windows 10 Enterprise 2016 LTSB 64bit	バージョン 10.0(ビルド 14393)	—	Microsoft	2	
2	KAJO_J入力システム 後期高齢者医療広域連合電算処理システム対応版	7	TP1-07L252251	日本加除出版	2	
3	文撰クライアント			IRCデータプロテクニカ	2	
4	メールクライアント				2	
5	Office Professional 2016	2016	TP1-A035AT090	Microsoft	2	
6	JP1/Automatic Job Management System 3 - View	11	TP1-A09J59030	日立製作所	2	
7	JP1/Automatic Job Management System 3 - Definition Assistant	11	TP1-A09J59055	日立製作所	2	
8	ICカード認証ソフトウェア				必要数	※6

※ウイルス対策ソフトの対象とすること。

(16) 広域端末 (広域連合事務所) デスクトップ

①ハードウェア仕様

機器名	仕様
広域端末	CPU：インテル® Core™ i5-6500 プロセッサ メインメモリ：4GB 以上 内蔵ディスク：500GB 以上 LAN：1000BASE-T ディスプレイ：17 型 SXGA 液晶 (1280×1024 ドット) USB 109 キーボード&USB レーザーマウス DVD スーパーマルチドライブ USB インターフェース：8 ポート以上 IC カード・IC カードリーダー

②ソフトウェア仕様

項番	ソフトウェア名称	バージョン	型番	メーカー名称	数量	備考
1	Windows 10 Enterprise 2016 LTSB 64bit	バージョン 10.0 (ビルド 14393)	—	Microsoft	2	
2	KAJO_J入力システム 後期高齢者医療広域連合電算処理システム対応版	7	TP1-07L252251	日本加除出版	2	
3	文撰クライアント		—	IRCデータプロテクニカ	2	
4	Adobe Acrobat Reader DC	DC	—	アドビシステムズ	2	
5	メールクライアント		—		1	
6	Office Professional 2016	2016	TP1-A035AT090	Microsoft	2	
7	ICカード認証ソフトウェア				必要数	※6

※ウイルス対策ソフトの対象とすること。

※メールクライアントは2台中1台のみ必要。

(17) 広域端末 (広域連合事務所) ノート

①ハードウェア仕様

機器名	仕様
広域端末	CPU：インテル® Core™ i7-6600U プロセッサー メインメモリ：4GB 以上 内蔵ディスク：500GB LAN：1000BASE-T

	ディスプレイ：15.6型ワイドFHD液晶(1920x1080ドット) USB 109 キーボード&USB レーザーマウス DVD スーパーマルチドライブ USB インターフェース：5ポート以上 ICカード・ICカードリーダー
--	--

②ソフトウェア仕様

項番	ソフトウェア名称	バージョン	型番	メーカー名称	数量	備考
1	Windows 10 Enterprise 2016 LTSB 64bit	バージョン 10.0(ビルド 14393)	—	Microsoft	16	
2	KAJO_J入力システム 後期高齢者医療広域連合電算処理システム対応版	7	TP1-07L252251	日本加除出版	16	
3	文撰クライアント		—	IRCデータプロテクニカ	16	
4	Adobe Acrobat Reader DC	DC	—	アドビシステムズ	16	
5	Office Professional 2016	2016	TP1-A035AT090	Microsoft	16	
6	ICカード認証ソフトウェア				必要数	※6

※ウイルス対策ソフトの対象とすること。

(18) 検証用端末 ノート

①ハードウェア仕様

機器名	仕様
広域端末	CPU：インテル® Core™ i7-6600U プロセッサー メインメモリ：4GB 以上 内蔵ディスク：500GB 以上 LAN：1000BASE-T ディスプレイ：15.6型ワイドFHD液晶(1920x1080ドット) USB 109 キーボード&USB レーザーマウス DVD スーパーマルチドライブ USB インターフェース：5ポート以上 ICカード・ICカードリーダー

②ソフトウェア仕様

項番	ソフトウェア名称	バージョン	型番	メーカー名称	数量	備考
----	----------	-------	----	--------	----	----

1	Windows 10 Enterprise 2016 LTSB 64bit	バージョン 10.0(ビルド 14393)	—	Microsoft	1	
2	KAJO_J入力システム 後期高齢者医療広域連合電算処理システム対応版	7	TP1-07L252251	日本加除出版	1	
3	文撰クライアント		—	IRCデータプロテクニカ	1	
4	Adobe Acrobat Reader DC	DC	—	アドビシステムズ	1	
5	Office Professional 2016	2016	TP1-A035AT090	Microsoft	1	
6	ICカード認証ソフトウェア				必要数	※6

※ウイルス対策ソフトの対象とすること。

(19) 窓口端末（市町村）デスクトップ

①ハードウェア仕様

機器名	仕様
窓口端末	CPU：インテル® Core™ i5-6500 プロセッサ メインメモリ：4GB 以上 内蔵ディスク：500GB 以上 LAN：1000BASE-T ディスプレイ：17 型 SXGA 液晶(1280×1024 ドット) USB 109 キーボード&USB レーザーマウス DVD スーパーマルチドライブ USB インターフェース：8 ポート以上 OS：Windows 10 Enterprise 2016 LTSB 64bit バージョン 10.0(ビルド 14393) IC カード・IC カードリーダー

②ソフトウェア仕様

項番	ソフトウェア名称	バージョン	型番	メーカー名称	数量	備考
1	Windows 10 Enterprise 2016 LTSB 64bit	バージョン 10.0(ビルド 14393)	—	Microsoft	26	

2	KAJO_J入力システム 後期高齢者医療広域連合電算処理システム対応版	7	TP1-07L252251	日本加除出版	2 6	
3	文撰クライアント		—	IRCデータプロテクニカ	2 6	
4	Adobe Acrobat Reader DC	DC	—	アドビシステムズ	2 6	
5	メールクライアント		—		2 6	
6	Office Professional 2016	2016	TP1-A035AT090	Microsoft	2 6	
7	ICカード認証ソフトウェア				必要数	※6

※ウイルス対策ソフトの対象とすること。

(20) データ連携用端末

①ハードウェア仕様

データ連携用端末 26 台は、現行機を継続利用する前提だが、IC カード認証に必要なソフトウェア、ハードウェア及びその設定作業は本調達に含むこと。

(21) プリンタ（広域連合事務所、市町村設置）

機器名	仕様
プリンタ	レーザビーム乾式電子写真方式 両面印刷標準 解像度：1,200 dpi×1,200 dpi メモリ：640MB 印刷速度：A4 横 35.1 頁/分 A3 横 19.6 頁/分(片面) (片面) LAN：100BASE-T×1 対応用紙：A3、B4、A4、B5、A5、レター、はがきなど 用紙数：550 枚

(22) L3 スイッチ(データセンター)

機器名	仕様
L3 スイッチ(データセンター)	最大スイッチング容量：288Gbps 以上 最大転送レート：214.28Mpps 以上 LAN：10/100/1000BASE-T×24 以上 SFP+スロット×4 以上 QSFP+スロット×2 以上 ルーティングプロトコル：STATIC, RIPv1, RIPv2, OSPFv2, OSPFv3, BGP4, BGP4+に対応なこと

	<p>機能:10GbE/40GbE の標準規格インタフェースにてスタック接続可能であること</p> <p>オプション電源ユニットの接続等により、電源の2重化が可能であること</p> <p>ループ検知機能を有すること</p> <p>アクセスログ、システムログ、エラーログ等を定期的に自装置 Flash メモリに保存し、装置再起動時にも、そのログを確認できる機能を有すること</p>
--	---

(23) L2 スイッチ(データセンター)

機器名	仕様
L2 スイッチ(データセンター)	<p>最大スイッチング容量：128Gbps 以上</p> <p>最大転送レート：95.2Mbps 以上</p> <p>LAN：10/100/1000BASE-T×24 以上</p> <p>SFP+スロット×4 以上</p> <p>ルーティングプロトコル：STATIC, RIPv1, RIPv2, RIPv6</p> <p>機能：</p> <p>6 台までのスタック接続に対応可能であること</p> <p>ループ検知機能を有すること</p> <p>アクセスログ、システムログ、エラーログ等を定期的に自装置 Flash メモリに保存し、装置再起動時にも、そのログを確認できる機能を有すること</p>

(24) 負荷分散装置及び SSL アクセラレータ

機器名	仕様
負荷分散装置及び SSL アクセラレータ	<p>LAN：10/100/1000BASE-T×8 以上</p> <p>SFP+スロット×2 以上</p> <p>プロセッサ：quad-core CPU×1 以上</p> <p>RAM：16GB 以上</p> <p>最大スループット：6Gbps 以上</p> <p>HTTP 圧縮：3.8Gbps 以上</p> <p>SSL アクセラレータ：2300CPS 以上(2K RSA 鍵)</p> <p>機能：L4 及び L7 での負荷分散が可能なこと</p> <p>負荷分散方式：ラウンドロビン、最小コネクション数、最小データ通信量、レスポンスタイム、ハッシュ、パーシステンスハッシュ、重み付け、SNMP 重み付け</p>

(25) ファイアウォール (データセンター)

機器名	仕様
ファイアウォール(データ)	LAN：10/100/1000BASE-T×18 以上

センター)	<p>SFP+スロット×2 以上</p> <p>最大スループット：24Gbps 以上 最大セッション数：270,000 以上 最大ポリシー数：10,000 以上 機能：2 台での冗長構成が可能なこと セキュリティ機能としてファイアウォール機能、VPN 機能に加え、オプションとして不正侵入検知機能、アンチウイルス機能、Web フィルタリング機能、アンチスパム機能の利用が可能であること セキュリティ機能はファイアウォールポシ毎に各機能の有効・無設定が可能なこと</p>
-------	---

(26) L2 スイッチ (広域事務所及び市町村)

機器名	仕様
L2 スイッチ (広域事務所)	<p>最大スイッチング容量：128Gbps 以上 最大転送レート：95.2Mbps 以上 LAN：10/100/1000BASE-T×24 以上 SFP+スロット×4 以上</p> <p>ルーティングプロトコル：STATIC, RIPv1, RIPv2, RIPv6 機能： 6 台までのスタック接続に対応可能であること ループ検知機能を有すること アクセスログ、システムログ、エラーログ等を定期的に自装置 Flash メモリに保存し、装置再起動時にも、そのログを確認できる機能を有すること</p>

(27) ネットワーク UPS (広域事務所及び市町村)

機器名	仕様
ネットワーク UPS (広域事務所)	1500VA

(28) 不正接続防止装置 (広域事務所及び市町村)

機器名	仕様
不正接続防止装置	<p>台帳情報収集機能、不正接続検知機能、不正接続防止機能、複数セグメント管理機能 メモリ 256MB ・セグメント数にあわせて InterSec/NQ30d VLAN 追加ライセンスの準備をすること ・IPv6 を使用した不正な通信を防御するため、IPv4 と同様に IPv6 が有効になっている端末も管理できること。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> 各端末が接続されたスイッチの情報を取得し、スイッチのIPアドレスとポート番号を表示できること。 センサーは外部記憶媒体(USBメモリなど)上のテキストファイルに入力されたパラメータの自動読込による設定ができること。 サポートライセンスの準備をすること
--	---

(29) 端末ログ収集サーバ

①ハードウェア仕様

機器名	仕様
端末ログ収集サーバ	CPU : XeonG 6128 (3.40GHz/6コア) 以上、2基 メインメモリ : 32GB 以上 内蔵ディスク : SAS HDD 600GB 以上、6基以上、回転数15,000rpm以上、(RAID1) ネットワークインターフェース : 1000BASE-T×4ポート以上、LANボード2枚以上 (オンボード+拡張スロット構成を適用することを可とする) USBインターフェース : USB2.0 または USB3.0、1ポート以上 SASインターフェース : LTO対応インターフェース ファイルフォーマット : NTFS 光ディスクドライブ : DVDドライブ (外付けまたは内蔵) FDD : Flash FDD (USB) 電源・冷却ファン : 冗長化
LTO装置	ドライブ : LTO Ultrium6 ドライブ数 : 1以上 スロット数 : 1以上 転送速度 : 非圧縮時 160MB/s 以上

②ソフトウェア仕様

項番	ソフトウェア名称	バージョン	型番	メカ名称	数量	備考
1	Microsoft Windows Server 2016 Standard(16Core)	2016	UL1902-001	Microsoft	1	
2	InfoTrace PLUS V3.2 サーバーパック	3.2	UW1645-H0010	NEC	1	
3	PC 操作ログ V3.2 Agent ライセンス	3.2	UW1645-H000M	NEC	200	
4	PC 操作制御 V3.2 Agent ライセンス	3.2	UW1645-H000G	NEC	200	
5	JP1/Base	11	TP1-A09J59331	日立製作所	1	
6	JP1/Performance Management Agent Option for Platform	11	TP1-A09J59205	日立製作所	1	

7	JP1/SNMP System Observer - Agent for Process	11	TP1-A09J59164	日立製作所	1	
---	--	----	---------------	-------	---	--

※下記ソフトウェアのエージェントについては、運用管理サーバもしくはバックアップサーバのソフトウェア数量に含んでいるが、必要となる設定作業を行うこと。

JP1/Integrated Management - Manager
 JP1/TELstaff AE Professional Edition
 JP1/Integrated Management - Event Gateway for Network Node Manager i
 JP1/Network Node Manager i
 JP1/Performance Management - Manager
 資源管理ソフトウェア
 バックアップソフトウェア

※ウイルス対策ソフトの対象とすること。

(30) ソフトウェア仕様の備考

※1 バックアップソフトウェアは、次の要件を満たすものを使用すること。

ア マネージャ

- ・ スケジュールによって、リモートで任意のサーバにバックアップの指示を出すことが可能なこと。
- ・ GUI 管理コンソールで主要な設定、操作、監視が可能なこと。
- ・ LTO 装置へのバックアップが可能なこと。
- ・ サーバのバックアップイメージを作成し、障害発生時などにそのイメージをバックアップした状態に戻すことが可能なこと。
- ・ ネットワーク上に存在する他のサーバのバックアップやリストアが可能なこと。
- ・ Windows Server 2016 対応版であること。

イ エージェント

- ・ マネージャの指示を受け、バックアップを実行することが可能なこと。
- ・ バックアップした情報を、ネットワークを通して特定のマネージャへ送信が可能なこと。
- ・ Windows Server 2016 対応版であること。

※2 ストレージ管理ソフトウェアは、次の要件を満たすものを使用すること。

- ・ サーバとストレージ間の FC 経路障害時に経路の切替えが可能なこと。
- ・ サーバとストレージ間の FC 経路にかかる負荷を分散できること。
- ・ サーバとストレージ間の FC 経路の状態確認を自動で行えること。

※3 ウイルス対策ソフトウェアは、次の要件を満たすものを使用すること。

ア マネージャ

- ・ ウイルス定義ファイル、検索エンジンおよびプログラムを自動および管理者が手動で取得が可能なこと。
- ・ サーバ、端末に対し、ウイルス定義ファイル、検索エンジンおよびプログラムを自動的に最新の状態に更新が可能なこと。
- ・ サーバ、端末の状態について、次の項目をリアルタイムに管理が可能なこと。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ コンピュータ名 ・ OS ・ IP アドレス ・ ウイルス定義ファイル番号 |
|--|

- ・ 検索エンジンバージョン
- ・ プログラムバージョン
- ・ ウイルスの検出
- ・ 端末の起動
- ・ 端末の終了
- ・ 検索の開始
- ・ アップデート完了

- ・ 管理者がリモートで任意のサーバ、端末のウイルス検索の実行が可能なこと。
 - ・ サーバ、端末からウイルス検知情報を受信した場合、アラート情報として通知が可能であること。また、指定した宛先などに対してアラート情報を電子メールで通知が可能なこと。
 - ・ GUI 表示で容易に操作が可能なこと。
 - ・ HTTP でウイルス定義の配布が可能なこと。
 - ・ Windows Server 2016対応版であること。
- イ エージェント
- ・ 定期的にウイルス検索を実行する設定が可能なこと。
 - ・ 特定のファイルやフォルダをウイルス検索の対象から除外する設定が可能なこと。
 - ・ ウイルスを検知したときは、特定のマネージャにウイルス検知情報の送信が可能なこと。
 - ・ ウイルスを検知したときは、自動または手動でウイルスの削除が可能なこと。また、削除した状況をマネージャに送信が可能なこと。
 - ・ GUI 表示で容易に操作が可能なこと。
 - ・ 導入する OS に対する対応版であること。
 - ・ 監視対象はサーバ 22 台、PC101 台程度とする。（多少変更される可能性があるが柔軟に対応すること）
- ※4 不正接続防止ソフトは、次の要件を満たすものを使用すること。
- ・ 不正接続防止装置と連携し、ネットワークに接続されている機器を探索し、アドレス情報、OS 情報、使用しているポート情報などの台帳情報を収集・表示できること。
 - ・ 未登録の機器の接続を監視し、発見時に管理者への通知やアクションの実行を行えること。
 - ・ ネットワークへの接続が許可されていない機器の不正接続を防止できること。
- ※5 資源管理ソフトは、次の要件を満たすものを使用すること。
- ・ ネットワークに接続されたサーバーやパソコンなどの機器をリモート操作できること。
 - ・ 遠隔からの電源投入機能を有すること。
 - ・ 通信内容は暗号化できること。
 - ・ 接続先マシン情報のインポート/エクスポートが可能であること。
 - ・ ユーザーの操作を伴わないサイレントインストールが可能であること。
- ※6 IC カード認証ソフトウェアは、次の要件を満たすものを使用すること。
- ・ IC カードを使った二要素によるログイン認証がおこなえること。
 - ・ 認証用 IC カード内の固有情報に基づき認証を行うこと。
 - ・ IC カードをリーダーから外してもロックしない設定が可能であること。

- ・ユーザーが IC カードを紛失した場合、その紛失した IC カードだけを失効させ、不正な取得者が利用することを防ぐ機能を有すること。
- ・複数ユーザで IC カードの共用ができること。

3 安全性要件

(1) アクセス制御

- Windows の標準機能を用いて、各サーバ及び端末の領域へのアクセス権限をユーザ権限ごとに設定すること。
- Oracle の標準機能を用いて、データベース操作などを実行できるユーザ権限を適正に設定すること。
- ファイアウォール機器のフィルタリングルールを設定して、許可された IP アドレス及び必要なプロトコルだけ外部からアクセスできるようにすること。
- IIS の標準機能を用いて、特定の IP を持つ端末からのみ Web アクセスができるようにすること。

(2) ウイルス対策

- 広域連合内で統一したウイルス対策ソフトウェアを導入すること。
- 広域連合内の運用管理サーバで広域連合内の導入サーバ、端末のウイルスパターンの状況を確認できること。

(3) 暗号化

- 外部へ媒体を持ち出す際は、媒体を暗号化すること。
- 広域連合一市町村間の通信を暗号化すること。

(4) ユーザ認証

- Windows の標準機能を用いて、ユーザ ID 及びパスワードを登録して、OS にログインできるユーザを適切に設定すること。
- 標準システムで提供するユーザ認証機能を用いて、ユーザ ID 及びパスワードを登録して、標準システムにログインできるユーザを適切に設定すること。
- 標準システムにおけるパスワードの定期更新を実施すること。
- IC カード認証、記憶認証の二要素を使用して、OS にログインできるユーザを適切に設定すること。

※ なお、IC カード認証は、作業員 1 人につき IC カード 1 枚でなく、端末 1 台につき IC カード 1 枚（3 ユーザで共用）の運用を検討している。

(5) 入退室管理

- データセンターの設置主体である西日本電信電話株式会社の定める基準を順守すること。

(6) 不正アクセス対策

- 広域連合内及び市町村内で、不正に持ち込まれたパソコン等のネットワーク接続を防止すること。
- ネットワーク上の不正アクセスを検知すること。
- ネットワーク上の不正アクセスを防止すること。

4 信頼性要件

(1) 停電対策

- 停電及び瞬停の対策を行うこと。無停電電源装置を必要な機器に導入すること。

(2) 稼働時間

- サーバ類の稼働率を99%以上、サーバ類に障害が発生した場合のサービス停止時間を30分以内とできるように設計すること。

(3) 冗長化

- 次に示すサーバを負荷分散構成にすること。
 - ア) Web サーバ
 - イ) AP サーバ
- 次に示すサーバをクラスタ構成にすること。
 - ア) 帳票サーバ
 - イ) DB サーバ
 - ウ) 運用管理サーバ
- クラスタ構成とするサーバは、以下を満たすこと。
 - ・以下の障害を検知し、フェールオーバーができること。
 - サーバのシャットダウン、電源ダウン
 - OSのパニック、完全ハングアップ
 - OSの部分的な障害（ディスク I/O のハングアップ）
 - アプリケーションまたはサービスの停止
 - アプリケーションあるいはサービスのハングアップ
 - NIC や Public LAN の異常
 - クラスタリングソフトのサーバモジュール自体の異常
 - ・待機系においても共有ディスクパスで障害が発生したら異常を通知できること。
 - ・実 IP アドレスとは別にフローティング IP アドレス（仮想 IP）を利用できること。
 - ・サーバダウン等の重大なイベントをメール通報できること。
- 次に示すサーバを Active Directory 機能により冗長構成にすること。
 - ア) AD サーバ
- 各ネットワーク機器を2重化構成にすること。
- 障害発生時に業務サービスに影響を及ぼさないよう、各サーバおよびネットワーク機器のネットワーク経路を2重化構成とすること。
- 各サーバのディスクを冗長化構成にすること。
- 各サーバの電源を2重化構成にすること。
- 各サーバのCPUを2重化構成にすること。（DBサーバを除く）
- ストレージを構成する次に示す各要素を2重化すること。
 - ア) ディスクを多重化すること。
 - ①ディスクをRAID構成とする。
 - ②正ボリュームおよび副ボリュームの2ボリューム用意する。
 - イ) ディスクアレイコントローラを2重化構成にすること。
 - ウ) キャッシュメモリを2重化構成にすること。
 - エ) FC経路を2重化構成にすること。
 - オ) FCスイッチを2重化構成にすること。

(4) ストレージ

- 高信頼性のストレージをサーバのローカルディスクに割り当て、ディスクの信頼性向上とディスクアクセスの高速化を図ること。

(5) 負荷分散

- 次に示すサーバの負荷分散を行うこと。

- ア) Web サーバ
- イ) AP サーバ

5 移行要件

- (1) プロジェクトマネジメント
 - プロジェクトマネージャを配置し、プロジェクトの進捗管理、スケジュール及び仕様の変更管理、リスク管理、品質管理等を行うこと。
 - プロジェクトマネージャは、地方自治体の情報システムの開発、改修又は機器更改を担当した経験を有する者が望ましい。
- (2) 作業スケジュールの策定
 - 平成31年3月に新標準システムを本番稼働させることを前提に、作業スケジュールを策定すること。また、詳細な切替日については、別途調整に応じること。
 - 作業スケジュールには、各工程におけるマイルストーンを明記するとともに、工程名称、工程期間、工程目的、工程での管理項目、定例報告及びレビューの予定を明記すること。
 - データセンター、広域連合事務所及び市町村の担当部署の事務所には機器更改のためのスペースを新たに確保することが出来ないことから、それを前提とした作業スケジュールを策定すること。
 - 市町村が別途調達する窓口端末及びプリンタについて、調達費用を今後補正予算によって予算措置を行う市町村があることから、それを前提とした作業スケジュールを策定すること。
 - 作業の実施に当たっては、現行の標準システムのサービス停止時間を最小限にすること。
- (3) セキュリティ対策
 - 3 安全性要件に準じ、必要なセキュリティ対策を講じること。
- (4) 作業場所の確保
 - データセンター、広域連合事務所及び市町村の担当部署の事務所には機器更改のためのスペースを新たに確保することが出来ないことから、作業場所を確保すること。
 - データセンターに現行機器と新機器を同時に収納するためには、ラックを2台追加する必要があることに留意すること。なお、追加した2台のラックは、現行機器撤去後は不要になることから撤去すること。

<ラックの仕様>

機器名	仕様
ラック <データセンター内> 42U ネットワークラック	<データセンター内> 42U タイプのこと(ネットワーク機器を実装予定) 転倒防止措置を実施すること 各機器に対応したUPSを2個導入すること(冗長化)

- (5) 作業体制
 - 機器更改を実施するために必要な数のシステムエンジニアを配置すること。
 - システムエンジニアは、機器更改を実施するために必要な経験を有する者とする。また、システムエンジニアのうち1名以上は、標準システム又は医療保険の業務システムの運用、保守等を1年以上経験した者とするのが望ましい。
 - システムエンジニアに欠員が生じた場合に速やかに補充できる体制を確保すること。

- 契約後速やかに作業体制図を作成すること。また、作業体制に変更が生じる場合は、変更後の作業体制図を事前に提出すること。
 - 貴社と本広域連合、市町村及び現行の運用ベンダーとの役割分担を明確にすること。
 - 個人情報を取り扱う業務を再委託しないこと。契約の履行を複数の事業者で分担することを想定している場合は、コンソーシアムを形成すること。
- (6) ハードウェア等の環境構築・設定
- 機器更改後のハードウェア等の構成を設計すること。
 - ハードウェア等の調達仕様書を作成すること。
 - サーバ及びクライアントにソフトウェアをインストールし、必要な設定を行うこと。
- (7) ネットワーク環境構築・設定
- 機器更改後のネットワーク機器に係る設計作業を実施すること。
 - ネットワーク機器の調達仕様書を作成すること。
 - ネットワーク機器に必要な設定を行い、京都デジタル疎水ネットワークに接続すること。なお、他団体のシステム（京都府共同利用システム及び京都府地方税機構システム）がL3スイッチを共用していることから、その設定も行うこと。当該団体に作業を依頼する必要があり、費用が発生する場合は、機器更改の費用に含むこと。
 - ネットワーク機器については、その他のハードウェア等に先行して、拠点単位で切り替える等、安全かつ確実に切り替えること。また、切替えに当たっては、本広域連合、現行の運用ベンダー、市町村及び暗号化装置並びにL3スイッチを共用している他団体と密接に連携すること。
 現行の運用に影響を与えないことが必須であり、ネットワーク切替のスケジュールについては現行の運用業者の意見を聞いた上で対応すること。
 さらに、切替時には現行運用業者のデータセンター側での作業が必須となるため、この費用も本調達の費用に含むこと。
 - 機能の移行に際して回線事業者既存運用事業者、一部共同利用しているシステムの担当者とは十分協議の上で実施すること
 - 京都デジタル疎水ネットワークに係る届出等の手続を支援すること。
- (8) 新標準システムのセットアップ
- 新標準システムをインストールし、現行の運用を継続できるよう、環境設定情報及びジョブ定義情報を設定すること。
 - 現行の標準システムの環境設定情報及びジョブ定義情報は、貴社が現行の運用ベンダーに対して提供を依頼すること。また、これらの作業に要する費用の見積もりを現行の運用ベンダーから取得し、本調達の費用に含むこと。
 - 市町村が別途調達して必要なソフトウェアをインストールした窓口端末用のパソコンについて、窓口端末として使用できるように必要な設定を行うこと。また、窓口端末用のパソコンを貴社から調達してソフトウェアのインストールを委託することを希望する市町村がある場合は、低廉な価格により、当該市町村と契約を締結すること。
- (9) カスタマイズ
- 本広域連合の独自運用に対応するため、必要なカスタマイズを行うこと。現行実施しているカスタマイズはもれなく実施すること。本広域連合の独自運用の変更は行わない。
 - 標準システムから出力される帳票のうち現在カスタマイズしている45種類の帳票について、カスタマイズを行うこと。
 - 標準システムで実施するジョブのうち、118種類のジョブについてカスタマイズを行うこと。

- 給付業務の専用カスタマイズアプリケーション群については、高度なカスタマイズ要件および影響度の高さから、特に慎重な対応を実施すること。
 - カスタマイズに当たっては、現行ドキュメント及びソースを提示する。受託者は、ソースを解析し、もれなく現行カスタマイズを実現すること。その際、本広域連合の各業務担当者及び現行の運用ベンダーと密接に連携すること。また、現行の運用ベンダーに作業を依頼する必要がある場合は、これらの作業に要する費用の見積もりを現行の運用ベンダーから取得し、本調達に含むこと。
- ＜現行の運用ベンダーの連絡先＞
- 日本電気株式会社京都支社
〒600-8008
京都市下京区四条通烏丸東入ル長刀鉾町8(京都三井ビルディング5F)
電話番号：075-253-6009
- カスタマイズについても、本調達に含まれることに留意すること。
- (10) データ移行
- 現行の標準システムで管理しているデータ（テーブル（テーブル定義を含む。）、ファイルなど。以下同じ。）を新標準システムに安全かつ確実に移行させること。
 - 現行の標準システムの移行データは、貴社が現行の運用ベンダーに対してデータ抽出を依頼すること。また、これらの作業に要する費用の見積もりを現行の運用ベンダーから取得し、本調達に含むこと。
- ＜現行の運用ベンダーの連絡先＞
- 日本電気株式会社京都支社
〒600-8008
京都市下京区四条通烏丸東入ル長刀鉾町8(京都三井ビルディング5F)
電話番号：075-253-6009
- (11) 総合テスト
- 現行の標準システムと新標準システムが並行稼働している期間に、本広域連合で実施している主要なジョブ及びツールについて、新旧両方のシステムで実行し、現行の標準システムの運用を引き継いでいるかを確認すること。
 - 総合テストの実施に当たっては、現行システムの運用に影響を与えないこと。
 - 総合テストにおける現行の標準システムのジョブ及びツールの実行は、貴社が現行の運用ベンダーに対して依頼すること。また、これらの作業に要する費用の見積もりを現行の運用ベンダーから取得し、本調達に含むこと。
- ＜現行の運用ベンダーの連絡先＞
- 日本電気株式会社京都支社
〒600-8008
京都市下京区四条通烏丸東入ル長刀鉾町8(京都三井ビルディング5F)
電話番号：075-253-6009
- (12) 利用者支援
- 新標準システムにおいて、操作方法及び運用方法が現行の標準システムと大きく異なる場合は、本広域連合及び市町村の職員に対して研修を実施する等、必要な利用者支援を実施すること。
 - カスタマイズした部分について、操作方法及び運用方法を記載したマニュアルを作成すること。また、本広域連合の職員に対して、当該マニュアルに基づいて研修を実施すること。

(13) 報告

- 2週間に1回程度、プロジェクトの進捗状況、スケジュール及び仕様の変更状況、課題、リスク等を報告すること。

(13) その他

- 現在、デバイス制御ポリシーのもと稼働している市町村設置の連携用端末（Windows7 および日本電気株式会社製 InfoCage デバイスセキュリティ）は、引き続き稼働させる必要がある。このデバイス制御ポリシーを管理する端末の移行と、デバイス制御ポリシーが、連携用端末上で正常に動作することを確認すること。

6 運用要件

(1) 運用計画

- 年次業務、月次業務、日次業務等を考慮し、週間、月間及び年間のシステム運用スケジュールを作成すること。
- スケジュールの作成に当たっては、以下の事項に留意すること。

ア 週間スケジュール

- ① オンライン業務
- ② バッチ業務
- ③ サーバ定期再起動
- ④ バックアップ
- ⑤ 監視
- ⑥ ウイルスパターンファイルの更新
- ⑦ 保守

イ 月間スケジュール

- ① サーバ稼働統計資料の作成
- ② ログ収集
- ③ 情報収集
- ④ 標準システムのパッチ適用

ウ 年間スケジュール

- ① システムメンテナンス
- ② ミドルウェアのパッチ適用
- ③ Windows のセキュリティパッチの適用

- システム稼働時間は、以下のとおりとすること。なお、処理時間を短縮できるのであれば、それに要する追加コストを明示の上、積極的に提案すること。

ア システム稼働日

月曜日から金曜日まで（国民の祝日に関する法律に規定する休日、1月2日～3日及び12月29日～31日を除く。）

イ システムサービス時間

- ① オンライン業務時間
8時30分から17時30分（月に6日程度は19時30分まで延長）
- ② バックアップ処理（300GB弱）
オンライン業務終了後概ね40分以内に完了すること。
- ③ 日次処理（資格、賦課及び収納）
バックアップ処理終了後概ね30分以内に完了すること。
※ 週次処理、月初①②処理、月末処理及び月賦①②処理は除く。

④ 長時間処理

高額療養費計算処理等の長時間処理については、処理開始日の翌日のオンライン業務への影響を最小限にすること。オンライン業務の制限は、遅くても処理開始日の翌日の12時までには解除すること。

(2) 運用体制

- 新標準システム本番稼働後当面の間（最低1年間）は、常勤専従のプロジェクトリーダー（社内での名称に関わらず、プロジェクトの統括、管理を行うものをいう。以下同じ。）を配置することが望ましい。
- 円滑に運用するために必要な数のシステムエンジニアを配置すること。なお、システムエンジニアの作業場所はデータセンター内とする。
- プロジェクトリーダー及びシステムエンジニアは、運用保守及び本番業務支援を実施するために必要な経験を有する者とする。また、プロジェクトリーダー及びシステムエンジニアのうち1名以上は、標準システム又は医療保険の業務システムの運用を1年以上経験した者とする。
- プロジェクトリーダー及びシステムエンジニアについては、本番稼働までに、貴社の既存の標準システム運用チームに配置して必要な研修を行うこと。
- プロジェクトリーダー及びシステムエンジニアに欠員が生じた場合に速やかに補充できる体制を確保すること。
- 新標準システムの本番運用開始までに運用体制図を作成すること。また、運用体制に変更が生じる場合は、変更後の運用体制図を事前に提出すること。
- 貴社と本広域連合及び市町村との役割分担を明確にすること。
- 個人情報を取り扱う業務を再委託しないこと。契約の履行を複数の事業者で分担することを想定している場合は、コンソーシアムを形成すること。

(3) 稼働統計

- 定期的に各サーバ及びネットワーク機器の稼働情報を取得して稼働統計資料を作成すること。
- 各サーバの稼働統計情報の収集は、運用管理サーバ及び運用管理端末から実施し、以下の情報を取得すること。
 - ア リソース情報
 - ① パフォーマンス情報
 - ・CPU使用率
 - ・ディスク I/O
 - ・ディスク使用率
 - ・メモリ使用率
 - ② Web アクセス情報
 - ・Web アクセス数
 - ③ プロセス・サービス情報
 - ・サービス稼働状況
 - ・プロセス稼働状況
 - ④ システム情報
 - ・ハードウェアステータス
 - イ ログ情報
 - OS ログ
 - ・イベントログ

- ① 標準システムログ
 - ・ジョブネットログ
 - 定期的に稼働統計資料を作成すること。
- (4) 自動運転
 - 各処理の自動運転を可能とすること。
 - 各サーバは、スケジュールに応じて、運用管理サーバ及び運用管理端末から一括して実行指示を発行し、自動でジョブの実行が可能なこと。
 - 各サーバのジョブ実行状況の監視は、運用管理サーバ、運用管理端末から確認できること。
 - 各サーバのジョブの実行、停止、変更指示は、運用管理サーバ、運用管理端末から可能なこと。
 - 各サーバは、管理者の指示に応じて、運用管理サーバ、運用管理端末から一括して実行指示を発行し、手動でジョブの実行が可能なこと。
 - 各サーバは、該当ファイルの有無に応じて、運用管理サーバ、運用管理端末から一括して実行指示を発行し、自動でジョブの実行が可能なこと。
 - 必要に応じて、ユーザ権限に応じ、管理者、オペレータなど、ジョブの実行権限を分割することが可能であること。
 - ユーザ権限は、OSのユーザ権限とリンクが可能であること。
 - ジョブの実行の指示内容、実行結果は、統合監視画面に表示可能なこと。
 - 標準システムから提供されるジョブ又は使用するバッチジョブ管理ソフトウェアに応じたジョブを作成し、登録すること。
 - ジョブの定義情報を Excel に出力し、編集可能であること。また、編集したジョブ定義の情報を登録可能であること。
 - ジョブやスケジュールの情報を帳票レイアウトの形式で表示及び印刷が可能であること。
- (5) 再起動
 - 各サーバは定期的に再起動すること。
 - 再起動は、週1回程度の割合で実施すること。
 - 各サーバは、スケジュールに応じて、運用管理サーバ、運用管理端末から一括して実行指示を発行し、自動で再起動の実行が可能なこと。
 - 再起動は、年次、月次、日次のスケジュールを最大限考慮し、実施すること。
 - 再起動は、OSの再起動だけではなく、標準システムの起動・停止も考慮して、設定すること。
- (6) バックアップ
 - 各サーバ、端末システム領域、または設定が何らかの要因で故障した場合に備えて、迅速にシステム領域の回復を可能とするためシステム変更作業時にシステム領域のバックアップを取得すること。
 - ネットワーク機器の設定が何らかの要因で故障した場合に備えて、迅速に設定の回復を可能とするため設定変更作業時に設定ファイルのバックアップを取得すること。
 - 導入する各サーバのバックアップは、システム領域、データ領域、データベース領域、帳票データ格納領域という考え方にに基づき、それぞれ定期的にバックアップを取得すること。
 - ※システム領域とは、OS/ミドルウェア製品が使用する領域を示す。
 - ※データ領域とは、標準システムが使用するデータファイルの保存領域を示す。

※データベース領域とは、標準システムが使用するデータベース領域を示す。

※帳票データ格納領域とは、標準システムが使用する帳票データ格納領域を示す。

- システム領域、データ領域、データベース領域、帳票データ格納領域については、定期的にバックアップを取得し、システム障害時には、ただちにバックアップ時点に修復可能とすること。
 - データベース領域、帳票データ格納領域については、信頼性を考慮し、SAN (Storage Area Network) とすること。
 - データベース領域、帳票データ格納領域については、標準システムのオンライン稼働中のLTO媒体へのバックアップを考慮し、業務用 (正ボリューム)、バックアップ用 (副ボリューム) の2面以上を持たせること。
 - 正ボリュームから副ボリュームへ高速にコピーが可能なこと。
 - LTO 媒体へのバックアップは、副ボリュームから取得し、正ボリュームにバックアップによる負荷を与えないこと。
 - バックアップ取得は、オンライン業務を最大限考慮し実施すること。
 - バックアップ取得は、スケジュールに応じて、バックアップサーバから一括して実行指示を発行し、自動でバックアップの実行が可能なこと。
 - バックアップ取得は、管理者の指示に応じて、バックアップサーバから一括して実行指示を発行し、手動でバックアップの実行が可能なこと。
 - バックアップ媒体の保管、世代管理、破棄については、本広域連合のセキュリティポリシーに準じて実施すること。
 - 導入する端末のバックアップは、各製品のインストールの完了したリカバリディスクを作成し、各拠点に配布すること。また、各拠点での作業が最小限になるよう考慮すること。
- (7) リストア
- サーバ、端末システム領域、または設定が何らかの要因で故障した場合に備えて、システム領域からの迅速にシステム領域の回復を可能とするため、リストア手順を作成すること。
 - ネットワーク機器の設定が何らかの要因で故障した場合に備えて、迅速に設定の回復を可能とするため、バックアップした設定ファイルからのリストア手順を作成すること。
 - リストアはシステム領域、データ領域、データベース領域、帳票データ格納領域という考え方にに基づき、それぞれ個別にリストアする手順を作成すること。
 - ※ システム領域とは、OS/ミドルウェア製品が使用する領域を示す。
 - ※ データ領域とは、標準システムが使用するデータファイルの保存領域を示す。
 - ※ データベース領域とは、標準システムが使用するデータベース領域を示す。
 - ※ 帳票データ格納領域とは、標準システムが使用する帳票データ格納領域を示す。
 - データベース領域のリストアについては、ジャーナルファイルを使用して、極力、障害時直前まで復旧が可能な手順を作成すること。
- (8) 監視
- サーバの再起動時を除き、各サーバ、ネットワーク機器の稼働状態を24時間365日の監視を実施すること。
 - 各サーバの監視は、運用管理サーバ、運用管理端末から実施し、監視項目は次のとおりとすること。
 - ア ネットワーク監視
各サーバ、ネットワーク機器のネットワーク状況を監視すること。

- イ パフォーマンス監視
各サーバにおいて、CPU、メモリ、ディスク使用率などを監視すること。
 - ウ プロセス・サービス監視
各サーバにおいて、標準システムの稼働上必要なプロセス、サービス状態を監視すること。
※ 監視するプロセス、サービスは、導入業者の責任をもって調査、確認し、設定すること。
 - エ ログ監視
各サーバにおいて、標準システムの稼働上必要なログ状態を監視すること。
※ 監視するログ状態は、導入業者の責任をもって、調査、確認し、設定すること。
 - オ システム情報監視
各サーバにおいて、標準システムの稼働上必要なシステム情報を監視すること。
※ 監視するシステム情報は、導入業者の責任をもって、調査、確認し、設定すること。
 - カ ジョブ監視
各サーバで、標準システムの稼働上必要なジョブ実行状況を監視すること。
※ 監視するジョブ実行状況は、導入業者の責任をもって、調査、確認し、設定すること。
 - キ ウイルス監視
各サーバおよび端末において、ウイルスを監視すること。
 - ク 配布状況監視
各サーバにおいて、標準システムの稼働上必要なファイルの配布状況を監視すること。
※ 監視する配布状況は、導入業者の責任をもって、調査、確認し、設定すること。
- 上記監視項目を運用管理サーバ、運用管理端末の一画面の統合画面で監視すること。
 - 障害などのシステム異常時には、システム管理者へ通知が可能であること。
 - 市町村の端末および広域連合事務所内の端末の監視が可能であること
- (9) 通知
- 統合監視ソフトウェアを用いて、障害発生 of 早期発見を可能にすること。また、必要に応じてシステム管理者に通知すること。
 - 障害によって、オンライン業務に支障が発生した場合、利用者への通知を行うこと。
 - バッチによる自動処理が終了した際に、システム運用者に通知を行うこと。
- (10) 選定、入手及び配布・導入
- 標準システムの最新版パッチを後期高齢者医療広域連合電算処理システムヘルプデスク（以下「ヘルプデスク」という。）へのリリース後速やかに選定・入手し、原則として1箇月以内に配布・導入すること。
※ 必要に応じて、検証環境で検証を実施すること。
 - ミドルウェアの最新版パッチをヘルプデスクへのリリース後速やかに選定・入手し、原則として3箇月以内に配布・導入すること。
※ 必要に応じて、検証環境で検証を実施すること。
 - 標準システムで定期的に選定する Windows のセキュリティパッチをヘルプデスクへのリリース後速やかに適用の要否を決定・入手し、十分に評価して配布・導入すること。
 - ウイルス対策ソフトの最新版のウイルス定義ファイルを入手し、ベンダーリリース後1週間以内に配布・導入すること。

- (11) 収集
- 定期的に各サーバおよび端末のソフトウェア情報を取得し、標準システムのバージョン管理、各ソフトウェアのライセンス管理を行うこと。
 - サーバおよび端末のハードウェア情報を取得し、管理すること。
- (12) ログ採取
- 定期的に各サーバのログを採取すること。
 - 次に示すログを取得すること。
 - ア アクセスログ
 - ①Web サーバのアクセスログ
 - ②DB サーバのアクセスログ
 - イ 標準システムログ
- (13) ログ管理
- 取得した各サーバのログをバックアップサーバに一元管理することで、ログ調査の業務効率化を図ること。
 - ログ情報の保管、世代管理、破棄については、広域連合のセキュリティポリシーに準じて実施すること。
- (14) バージョン確認
- 定期的に標準システムにおける最新バージョン適用の有無を確認すること。
- (15) 名前解決
- DNS を用いて名前解決を実施し、各サーバの業務および運用を簡略化すること。
- (16) 時刻同期
- 業務、バックアップ、ログなどの各サーバにおける時刻のずれを防止するため、NTP を用いて導入するすべてのサーバおよび端末の時刻を日本標準時刻に同期させること。
- (17) 消耗品
- 納入されている各ハードウェア製品の消耗品について、各ハードウェア製品の仕様に基づき購入計画を立案し、本広域連合の予算案編成作業に間に合うように通知すること。
- (18) 本広域連合の独自運用への対応
- 夜間処理で出力される資格関係の帳票については、政令指定都市の行政区・支所単位に分割すること。また、給付関係の帳票についても分割できるようであれば、それに要する追加コストを明示の上、積極的に提案すること。
 - 本広域連合では、市町村が一部負担金を重度障害老人健康管理費支給制度（地方単独公費負担医療・公費負担者番号無）により助成した被保険者の高額療養費及び高額介護合算療養費（以下「高額療養費等」という。）を市町村に支払う運用を行っていることから、支払いに必要なデータを作成すること。
 - ※ 重度障害老人健康管理費支給制度については、平成24年8月診療分までは訪問看護療養費は助成対象とならないことから、訪問看護療養費に相当する高額療養費等は被保険者本人に、それ以外の高額療養費等は市町村に支払う。平成24年9月診療分からは訪問看護療養費も助成対象となることから、全て市町村に支払う。そのため、所得更正等により遡及して高額療養費等を計算した場合、診療月によって支払先が異なることに注意すること。
 - その他の本広域連合の独自運用を継続すること。また、各種バージョンアップ等によってカスタマイズ部分に影響が生じる場合は、必要な対応を行うこと。
- (19) 本広域連合職員の業務負担の軽減
- 本広域連合では、給付事務を中心に、本広域連合職員が、Access 等で作成されたツ

ルを使用し、処理している。市町村から本広域連合に派遣される職員は、Access を使用したことがない者が大半であることから、本広域連合職員の負担感は大きい。

- ついては、貴社が他広域連合から運用等を受託した経験から、本広域連合職員の業務負担の軽減につながる提案が可能な場合は、それに要する追加コストを明示の上、積極的に提案すること。
- (20) 制度改正等への対応
 - 制度改正等による運用等の変更に対応すること。なお、大幅なシステム改修や要員の増員等を要する場合は、本広域連合と受託者が協議の上、対応を判断することとする。
- (21) 報告
 - 3箇月に1回、実績等を報告すること。

7 リース要件

- (1) リースの形態
 - ファイナンスリースとすること。
- (2) リース期間
 - 平成31年4月1日から平成36年3月31日まで（その後も必要に応じて1年程度は再リースが可能であること。）
 - ※機器更改等業務期間中（平成31年3月31日まで）、リース料は発生しないものとする。
- (3) その他
 - 搬入費用はハードウェア等の価格に含めること。
 - 本番稼働時に必要な消耗品の費用もハードウェア等の価格に含めること。
 - リース期間終了後の機器の撤去費用及びデータ消去費用はハードウェア等の価格に含めないこと。

8 保守要件

- (1) 保守の形態
 - オンサイト保守とすること。
- (2) 保守期間
 - 平成31年4月1日から平成36年3月31日まで（その後も必要に応じて1年程度は延長が可能であること。）
- (3) 保守の受付時間
 - 月曜日から金曜日まで（国民の祝日に関する法律に規定する休日、1月2日～3日及び12月29日～31日を除く。）の8時30分から17時30分までは、本広域連合からの連絡を受付可能なこと。
- (4) 保守の内容
 - データセンター、本広域連合の事務所及び市町村の担当部署の事務所に概ね1時間以内に到着できる範囲に、サポートの拠点を有すること。
 - ハードウェア障害が発生した場合、本広域連合からその旨の連絡を受けた日の翌日までに障害復旧を実施可能なこと（ただし、特に事情がある場合は、対応期日を別途定めることとする。）。
 - ハードウェアの定期点検（清掃）は必要ない。なお、ハードウェア障害の防止の観点から、定期点検（清掃）が不可欠なハードウェアがある場合は、定期点検（清掃）に要する追加コストを明示の上、積極的に提案すること。

(5) 報告

- 3箇月に1回、実績等を報告すること。

9 納品要件

本広域連合では、本機器更改等業務において以下の成果物を想定していることから、貴社のプロジェクト管理手法等を踏まえ、納品物及び納品時期を提示すること。

成果物名	提出形式	提出時期
プロジェクト計画書（体制図を含む。）	原紙、電子媒体	平成30年7月
ハードウェア、ミドルウェア及びソフトウェア 調達仕様書	原紙、電子媒体	平成30年5月
要件定義書	原紙、電子媒体	平成30年8月
設計書	原紙、電子媒体	平成30年9月
総合テスト仕様書	原紙、電子媒体	平成30年10月
総合テスト結果報告書	原紙、電子媒体	平成30年12月
システム移行手順書	原紙、電子媒体	平成30年10月
システム移行結果報告書	原紙、電子媒体	平成30年12月
市町村への展開手順書	原紙、電子媒体	平成30年10月
市町村への展開結果報告書	原紙、電子媒体	平成30年12月
運用保守計画書（体制図を含む。）	原紙、電子媒体	平成30年12月
運用手順書	原紙、電子媒体	平成30年12月
その他作業報告書	原紙、電子媒体	随時